

西上小だより

学校教育目標

- 明るく元気な子
- よく考える子
- 仲良くがんばる子

平成30年2月27日(火)
士幌町立西上音更小学校
校長 川上 裕明

士幌町交流ミニバレー大会優勝！

2/24(土)に第42回士幌町内小学生交流ミニバレー大会が行われ、西上音更小学校からは、1～4年生の「西上レインボー7」と5・6年生の「三代目真西ハム」の2チームが参加しました。

「西上レインボー7」は、予選リーグで各校の高学年と当たり、善戦したものの惜敗。しかしその後の交流試合では好プレー続出で、みごと勝利しました。「三代目真



西ハム」は、11月の町小学生大会で優勝、12月に大樹町で行われた大会で優勝し、今回の大会は三冠がかかった大一番でした。いつもの粘り強く「拾うバレー」で勝ち進み、みごと優勝です。試合内容はもちろんマナーも良く、大会に来ていた大人の方からも「西上の子

もたち、立派だね。」とほめていただきました。

昨年度に続く三冠ではありますが、チーム編成は大きく変わってのこの結果。子どもたちの頑張りはもちろん、指導して下さった□□監督や□□コーチや先生方、練習相手をして下さった保護者やOBの皆さん、支えて下さったご家族の力が結集しての優勝、みんなで喜び合いたいです。

◇◇緊急特別企画◇◇「なぜ強い!?西上小のミニバレー」

川上「昨年に続いての三冠、更に歴史をさかのぼっても西上地区は強豪といわれているそうですね。強さの秘訣は何なのでしょうか？」

□□監督「児童の保護者世代に、ミニバレーに一生懸命取り組んでいた人が多い～というのはあるでしょうね。」

川上「それは他地区もそうじゃないですか？」

□□監督「うん。あと、子どもたちの仲が良いというのもあると思います。平昌で金メダルを取ったチームパシュートも、年間300日一緒に生活をしているじゃないですか。西上の子もたちも、普段の学校生活でお互いの考えていることなどがよく分かっているし、そこから練習を重ねて互いの動きが読めるようになって、それが西上の「つなぐバレー」に結びついていくと思います。あと……。」(と、ここからは企業秘密……)

未来へつなぐ西上音更小学校～今日の学びを明日の力へ～



たくさんの応援ありがとうございました。

3月の予定

1日	木	外国語集合学習
2日	金	児童会
3日	土	PTA総会～地区総会～閉校事業実行委員会
4日	日	
5日	月	
6日	火	
7日	水	職員会議
8日	木	朝会
9日	金	参観日～6年生を送る会
10日	土	
11日	日	みんなで教育を考える集い
12日	月	
13日	火	巡回外国語
14日	水	
15日	木	中央中卒業式
16日	金	
17日	土	
18日	日	
19日	月	卒業式練習
20日	火	卒業式練習
21日	水	春分の日
22日	木	大掃除, 卒業式準備
23日	金	修了式, 卒業式
24日	土	
25日	日	地区歓送迎会
26日	月	学年末休業 職員会議
27日	火	
28日	水	
29日	木	
30日	金	
31日	土	

* 予定変更は各学級通信でご確認ください。

学校改善のために

2学期末、今年度2回目となる学校評価を実施しました。

「1」～「4」の4段階で評価していただいた平均を「O.OP(ポイント)」と示しています。

1 「特色ある学校づくり」に関わって

- 児童「学校に行くのが楽しい」 3.8P
- 児童「先生は勉強がわかるようにていねいに教えてくれる」 3.9P
- 保護者「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」 3.9P
- 保護者「学校は西上のよさを生かした教育活動を進めている」 3.9P
- 保護者「子どもは基礎的・基本的なことを理解し、考える力をつけている」 3.8P

学校の取り組みを児童にも保護者の方にも認めていただいていることに、感謝しております。今後も、みなさんから4.0をいただけるような取り組みをがんばります。

2 「確かな学力」に関わって

- 児童「もっと知りたい、やりたいと思う勉強がたくさんある」 3.3P
- 児童「先生はがんばったことを認めてくれたり、困ったとき助けてくれる」 3.8P
- 保護者「達成感や成就感が味わえる学習が行われ、学習意欲が向上している」 3.8P

おおよその児童が4.0と評価している中、1名の児童が1.0となった結果が平均を下げています。「そう考えて困っている児童がいる」ことを念頭に、より児童の意欲を引き出す指導、より児童を大切にす指導をしてまいります。

3 「豊かな心と健やかな体」に関わって

- 児童「先生は命の大切さ、思いやり、社会のきまりについてよく話してくれる」 3.7P
- 児童「進んであいさつをしたり大人や先生に ていねいな言葉を使っている」 2.9P
- 保護者「学校は豊かな心を育てるため積極的に道徳教育に取り組んでいる」 4.0P
- 児童「学校のある日は早寝早起きをしている」 2.7P
- 児童「お家の人と一緒に朝ごはんをしっかりと食べている」 3.1P
- 保護者「先生は個々の良さや持っている力、努力をきちんと見てくれている」 4.0P
- 保護者「子どもは気持ちよい挨拶・適切な言葉遣いができるようになっている」 3.7P
- 児童「友だちと仲良く遊んだり力いっぱい体を使って運動している」 3.6P

未来へつなぐ西上音更小学校～今日の学びを明日の力へ～

保護者「子どもは早寝早起きを心がけ、規則正しい生活ができている」 3.6P

保護者「子どもは好き嫌いせず、バランスの良い食生活ができている」 3.5P

保護者「学校は体育や遊びを通して子どもの体力向上に努めている」 4.0P

保護者「学校は子どもの安全に配慮し学習しやすい環境づくりに努めている」 3.8P

保護者「学校は事故防止や安全対策、緊急対応に努めている」 3.8P

気になるのは、児童「進んであいさつ」「大人や先生にいていねいな言葉」「早寝早起き」「お家の人と一緒に朝ごはん」の各項目の低さです。西上小児童のあいさつは明るく元気でとても立派だと思のですが、自己評価の低さが意外でした。ひょっとして「ていねいな言葉」が不十分？「朝ごはん」はお家の方のお仕事の都合などで必ずしも一緒というわけにいかない場合もありますが、生活のリズムをつくり健康維持と学校生活の充実にもつながる「早寝・早起き・朝ごはん」について、ご家庭でもご指導をお願いいたします。

4 「家庭・地域の期待や信頼」に関わって

児童「進んで宿題をしたり、家庭学習をしている」 2.5P

保護者「学校は行事や日常の子どもたちの様子をわかりやすく伝えている」 4.0P

保護者「学校は保護者・地域と連携、協力して教育活動を進めている」 4.0P

保護者「学校や先生は、気軽に相談でき、親身になって相談に乗ってくれる」 4.0P

保護者「子どもは自ら進んで宿題や家庭学習をしている」 3.4P

「家庭学習」について、児童の自己評価が低く、保護者評価も低めです。学校からの宿題はきちんとこなしているものの、そこから先の自主的な家庭学習となると今一つの様です。もちろん「学校で勉強、家庭で癒やし」は大切ですが、これからの長い人生を考えると、児童が進んで予習・復習したり、自ら興味のあることを見つけて取り組むことも重要です。そういった家庭学習への誘いや「もっと学びたい！」という意欲の醸成が、本校の課題です。

◇◇校長室から◇◇ 『間違える』ことが大切

先生方の校内研究終盤に、このように話しました。

「間違えた答を出した児童を、うんとほめてあげてください。人は、一度間違えると『もう間違えないぞ。』という気持ちが強くなります。誰かの間違いを見て、自分が注意深くなります。今の小学生が大人として生きるこれからの日本は、見習うべき模範のない社会になります。誰かのマネをすれば認められるのではなく、正解を自分で作っていくたくましさ求められます。間違えたからといって萎縮してしまわないで、間違えてもたくましく立ち直る。別な方法を探す。その姿勢こそ、学校が児童に身につけさせるべきものなのかもしれません……」

と話して気がつきました。西上小の先生方は、とにかくほめる。良くない行いは叱りますが、授業でも行事でも遊びでも、児童のいいところやチャレンジする姿勢に「いいぞ!」「がんばれ!」と、すかさず声かけをしています。

そんな先生方のいいところを見てもボンヤリしている、私が一番考えを改めなくてはいけないようです……。